

信頼される病院になるための改善活動

「医療の質向上委員会」とは？



国立病院機構
(以下、NHO)
では、より良質
な医療が提供で
きるよう、各病
院が独自のテー

マを設定し取り組むという新しい活動を始めました。NHO 本部にある総合研究センター診療情報分析部（以下、分析部）では、長年にわたって臨床評価指標（以下、指標）という医療の質を客観的な数値で測定する“ものさし”の作成と改良に取り組んでいます。指標から見えてくる各病院の改善点（テーマ）を発見し、その改善に取り組むために立ち上げたのが「医療の質向上委員会」です。

2015 年から開始されたこの委員会活動は、今では NHO の全病院で継続中です。各病院は指標の分析方法や改善テーマの選び方について分析部のサポートを受けながら改善に取り組んでいます。それぞれの病院ごとに改善すべきテーマが異なるため、医療の質向上委員会を構成するメンバーの職種も病院ごとに変わります。組織横断的な活動であり、指標という数字に強い診療情報管理士などが参加している場合が多いのも特徴です。

こうした委員会活動は、たとえば「患者さんやご家族との面談機会を増やせた」「患者さんの満足度アップにつながった」という成果のほかにも、スタッフ間での情報共有につながったという声など、職員のモチベーションアップの効果も生み出しています。

今回の特集では「医療の質向上委員会」の取り組みの具体例として、2つの事例をご紹介します。